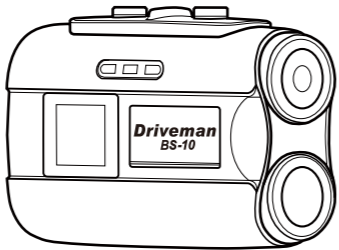


Wi-Fi、GPS内蔵
バイク用ドライブレコーダー

Driveman[®] BS-10

(保証書付き)

取扱説明書



このたびはドライブマンBS-10をお求めいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書に記載の「安全のための注意事項」をお読みください。
取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しく使用してください。

保証書は、大切に保管してください。

Copyright (C) 2019 ASahi RESEARCH CORPORATION. All Rights Reserved.

〇してはいけない内容

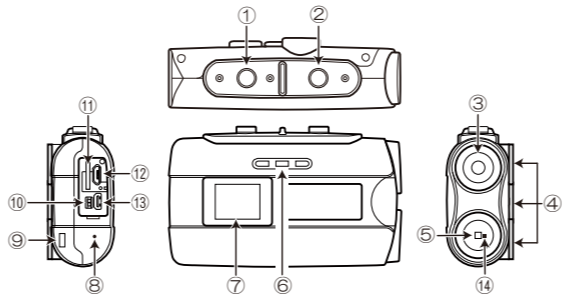
- 煙、匂い、発熱、異音等の異常現象がある場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにして下さい。
- 本機背面のゴムカバーを開けて専用アクセサリ以外の物は使用しないでください。発煙、発火、感電、故障につながります。
- バイク等の運転中に本機の操作はしないで下さい。本機の操作は運転前が終了後に行ってください。
- レンズの曇りは本体の温度と外気の温度差により発生する場合があります。曇った場合は、本体背面のゴムカバーを開けた状態で乾燥剤とともに密閉性のあるビニール袋などに入れて48時間以上放置して下さい。
- 液晶画面には、絶対に衝撃を加えないでください。衝撃を加えるとパネルが割れ、火災、感電、けがの原因となります。
- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、動作不良などの原因となります。また、お客様による分解、改造をした結果発生した故障等については、保証期間内であっても有償修理となります。
- micro USBケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないで下さい。
- micro USBケーブルの芯線の露出、断線などがあった場合は、販売店にご相談下さい。そのまま使用すると、感電、発熱、火災、の原因となります。
- 電源プラグはしっかり根元まで確実に差し込んで下さい。差し込みが不十分ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- コンセントに差ししたまま micro USB ケーブルのプラグ部分に触れたり、何か物を接触させたりしないで下さい。火災、感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災、感電の原因となります。
- 濡れた手で、電源プラグに触らないで下さい。感電の原因となります。
- micro USB ケーブルを改造したりしないで下さい。火災、感電の原因となります。
- micro USB ケーブルは必ず付属のものをご使用ください。また他の製品に使用しないで下さい。火災、感電の原因となります。
- お手入れをされる際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になることがあります。

その他、注意事項

- 防水性能は、前方からの雨を防ぐ構造になっています。60km/時のスピードで15分間の雨水を想定しています。本体背面を水のある方向（場所）に設置しないで下さい。
- 雨天のご使用は、お勧めいたしません。早めに収納して下さい。
- micro SDカードは消耗品です。耐用年数は毎日使用した場合約1年間です。（使用環境により異なります）
- 他社製のUSBケーブルを接続するとドライブマンが故障する場合があります。必ず同梱の専用USBケーブルをご使用下さい。
- レンズが汚れていると綺麗な映像を得られません。お手入れは、柔らかい布等で汚れをお取りください。
- 充電は約50%の状態でご保管してください。
- 満充電で保管した場合、電圧が上昇し電池が膨らみ使用不可能になる場合がございます。
- 万が一、何らかの理由により録画されなかった場合の録画内容の保証については弊社は一切のその責任を負いません。
- ご不要になった場合は、本機の背面（ゴムカバー）を開けた状態で塩水に2〜3日つけて完全に放電させてから燃えないごみとして、廃棄してください。

※パッケージに上記のものがすべて揃っているかご確認ください。
※本体以外はオプションでお買い求めいただけます。
※同梱されている純正品をご使用下さい。
他の製品を使ってのご使用は動作保証いたしません。

2. 各部名称



- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| ① 電源 / 決定 ボタン | ⑨ ストラップ 取付口 |
| ② 選択 / ライト ボタン | ⑩ 主電源スイッチ(上側OFF)(下側ON) |
| ③ カメラレンズ | ⑪ micro SDカードスロット |
| ④ ブラケット取付部 (ネオジム磁石) | ⑫ micro USB 電源ケーブル接続部 (充電用 / PC接続用) |
| ⑤ 照明用LEDライト | ⑬ micro HDMIケーブル接続部 (TV接続用) |
| ⑥ LEDランプ | ⑭ 録画確認用LEDライト |
| ⑦ 液晶画面 | |
| ⑧ マイク | |

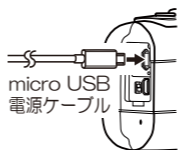
3. LEDランプ表示

左 LED	中央 LED	右 LED
赤 点灯 録画中	青 点滅 / GPS 受信後 点灯 緑 点滅 Wi-Fi 接続	赤 点灯 充電中

右 LED 充電レベル表示	右 LED バッテリー残量表示
100% 消灯	100% ~ 50% 緑点灯 50% ~ 20% 緑 + 赤点灯 (オレンジ)
0 ~ 80% 赤点灯	20% ~ 30分 赤点灯 30分 ~ 0分 赤点滅 + 電池アイコン点滅

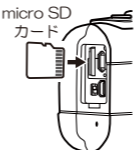
4. 充電

- AC充電器とmicro USB電源ケーブルをつなぎ、本体に差し込んで下さい。⑥LEDランプ右が赤点灯
⑩ 主電源スイッチON時はピー音と振動がします。
- 充電時間は、約3時間かかります。満充電で⑥LEDランプ右が消灯します。
※ 専用の充電器以外は、ご使用しないでください。



5. micro SD カードの挿入

- micro SDカードを正しい方向に入れて下さい。
※micro SDカードが入っていないとSDカード表示が点滅し警告音がなります。その後本体の電源が切れます。
※撮影モード中は絶対にmicro SDカードを抜かないでください。micro SDカードが破損する恐れがあります。
※録画中にmicro SDカードを抜くと最終ファイルが記録されません。録画停止確認後micro SDカードを抜いてください。



6. 時計設定

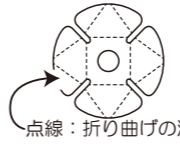
- 液晶画面に時計が表示されます。
①電源/決定ボタンを長押しすると録画と同時に内蔵のGPSが自動で時計補正します。⑥LEDランプ中央が青点滅します。GPSを受信すると⑥LEDランプ中央が青点灯に変わります。（Wi-Fi ON 点灯 / Wi-Fi OFF 消灯）
※GPSは時計補正されるまで継続しています。
※①電源/決定ボタンを起動するたびにGPS受信を開始し時計補正を行います。GPSの受信環境により受信に時間がかかる場合があります。
※手で設定する事も出来ます。裏面の21.日/時刻/Date/Timeを参照してください。
※電源をいれてから⑦液晶画面に4桁の数字が表示されますが、こちらはファームウェアナンバーです。

7. ブラケット、本体取付

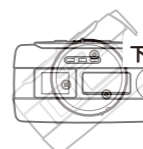
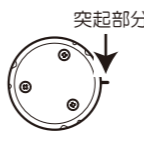
- 本体は、ヘルメット右側面に取付けられるように設計されていますが、お客様のご使用用途により任意の場所に取付けて下さい。
- 脱落防止ストラップを本体とブラケットに取付けます。本体の⑨ストラップ取付口にストラップを通して取付けます。ブラケットの締付けネジを外し、ストラップを通してネジで締めつけて下さい。



- ブラケットの羽根部分をヘルメットのカーブに添わせるように折り曲げて下さい。折り曲げやすいように溝があります。
- 両面テープの保護シートを剥がして、ヘルメットに取り付けます。
※ ヘルメットに貼り付ける際には、よく貼付面の汚れを拭き取って下さい。
※ ブラケットの両面テープは、本来の粘着力が出るまでには一日ほどかかりますので、貼付後はあまり大きな力をかけないで放置してください。



- 本体に4つの強力な磁石が埋め込まれていますので、この磁石でブラケットに吸着させます。
- ブラケットの突起部分が前に来るように取付けます。
- 本体を上向きに取付けて、下に倒すと本体が止まる位置がありますので、その位置が正しい位置となります。
※ 取り付ける際は、指が挟まらないようにご注意ください。



- ブラケットは、固定ベルトのネジを緩めると、自由に動かすことができます。撮影する方向、角度を決定しましたらネジを締めて固定して下さい。



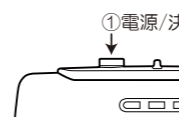
- 本体とブラケットの脱落防止ストラップ結合部をつなぎ合わせます。
※走行中、ストラップの結合部がヘルメットに当たって音が出てしまう（マイクが音を拾ってしまう）場合がありますので、ストラップの紐を調整して下さい。

8. 操作方法

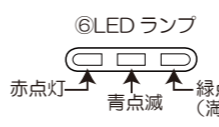
録画開始 / 停止

記録方式はSDカード内が一杯になると古いファイルから上書きされていきます。

- ⑩主電源スイッチをON（下側）にして下さい。
- ①電源/決定ボタンを長押しするとピー音と振動がして、録画を開始します。



- ⑥LEDランプと⑭録画確認用LEDライトが点灯し、⑦液晶画面に時刻が表示されます。



- もう一度、長押しするとピー音と振動がして録画が停止します。（⑥、⑭のLEDランプはすべて消灯し、⑦液晶画面の時刻も消えます）
※ご使用しない場合は⑩主電源スイッチをOFF（上側）にして下さい。

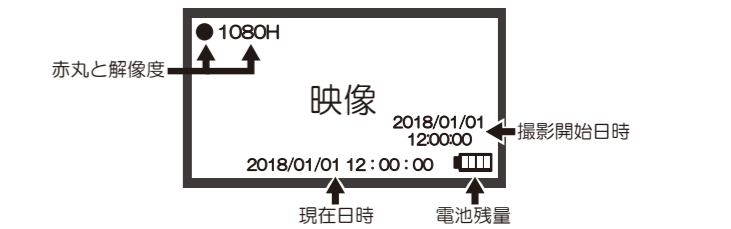
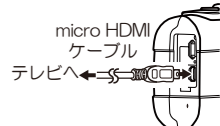
※操作中に本体がフリーズしてボタン操作が出来ない場合は、⑩主電源スイッチをOFF（上側）にして下さい。本体がリセットされます。

照明用 LED ライト点灯 / 消灯

録画中に②選択/ライトボタンを押すと、ピー音と同時に⑤照明用LEDライトが点灯します。もう一度、押すとピー音と同時に消灯します。

ライブビュー録画（テレビと付属のmicro HDMIケーブルが必要です）

- micro HDMIケーブルと本体をテレビにつなぎ①電源/決定ボタンを長押しすると本体に電源が入り、テレビ画面にライブビュー映像が映し出されます。
 - ①電源/決定ボタンを押すと録画が始まり、画面左上に赤丸と解像度が表示され画面右下に撮影開始日時が表示されます。
 - もう一度①電源/決定ボタンを押すと録画が停止し、画面左上の赤丸と解像度も消えます。
- ※ライブビュー録画はイメージ回転の90°、270°、スリープモード、モーション録画設定時はご使用できません。
※ライブビュー時（録画時）はGPSを受信していません。（LEDライト中央消灯）



9. 各種設定（テレビと付属のmicro HDMIケーブルが必要です）

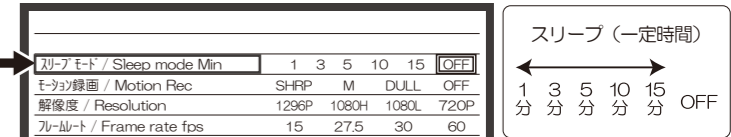
各種設定又は動画再生を行います。※パソコンで設定はできません。

- ライブビュー画面の状態で、②選択 / ライトボタンを押すとサブメニュー画面が表示されます。
- ②選択 / ライトボタンでメニュー / Menu を選択し①電源 / 決定ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。

10. スリープモード / Sleep mode Min

消費電力を低減するため一定時間、動作がない場合本体は録画を停止します。

- ②選択/ライトボタンでスリープモード/Sleep mode Minを選択し①電源/決定ボタンを押すと、カーソルが右に移動します。1/3/5/10/15/OFFの選択ができますので、ご希望の設定に合わせて下さい。
- スリープ中、本体が振動を検知すると録画を再開します。
※スリープモードを設定していると、モーション録画は設定できません。
※スリープ中、GPS、Gセンサーは動作していますが、スリープ時間が2時間経過すると自動で電源オフになります。
起動するには、①電源/決定ボタンを長押ししてください。



11. モーション録画 / Motion Rec（セキュリティカメラ用途）

ヘルメット装着用途としては適していません。
本体を固定した状態でセキュリティカメラとしてご使用いただけます。
映像の中の動きを検知して録画を開始し、動きがなくなると15秒後に待機になります。また動きを検知すると録画が始まります。カメラ自体の動きによる画像の変化はモーションとして機能しません。

- ②選択/ライトボタンでモーション録画/Motion Recを選択し①電源ボタンを押すと、カーソルが右に移動します。SHRP/M/DULL /OFFの選択ができますので、ご希望の設定に合わせて下さい。
※モーション録画を設定していると、スリープモードは設定できません。
※待機中も通常動作と同じ電力を消費をしています。
※モーション録画ではLEDライトはご使用出来ません。

